



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場会社名 科研製薬株式会社
コード番号 4521 URL <http://www.kaken.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大沼 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 中村 賢一

TEL 03-5977-5002

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	52,179	△5.1	16,123	△12.6	16,238	△12.6	11,446	△8.3
28年3月期第2四半期	54,973	24.3	18,443	109.4	18,573	114.1	12,483	121.4

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 11,597百万円 (2.6%) 28年3月期第2四半期 11,308百万円 (71.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	278.02	—
28年3月期第2四半期	301.39	—

※平成27年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	131,648	94,736	72.0
28年3月期	132,991	89,875	67.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 94,736百万円 28年3月期 89,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	34.00	—	78.00	—
29年3月期	—	75.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成27年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成28年3月期の1株当たりの配当金につきましては、第2四半期末は株式併合前の金額を記載し、期末につきましては株式併合後の金額を記載しておりますので、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、平成28年3月期末の1株当たり配当金の内訳は、普通配当68円00銭、記念配当10円00銭となっております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,100	△3.3	28,900	△17.8	29,100	△17.7	20,800	△1.6	508.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	48,439,730 株	28年3月期	48,439,730 株
29年3月期2Q	7,567,505 株	28年3月期	7,033,882 株
29年3月期2Q	41,173,279 株	28年3月期2Q	41,420,932 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※平成27年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定であります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、薬価改定の影響等により、売上高は 52,179 百万円(対前年同期比 5.1%減)、営業利益は 16,123 百万円(対前年同期比 12.6%減)、経常利益は 16,238 百万円(対前年同期比 12.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は 11,446 百万円(対前年同期比 8.3%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 薬業

医薬品・医療機器につきましては、爪白癬治療剤「クレナフィン」が売上を伸ばし、癒着防止吸収性バリア「セプラフィルム」はほぼ横ばいでありましたが、薬価改定の影響や、「クレナフィン」の海外導出先からの収入の減少などにより減収となりました。

農業薬品につきましては増収となりました。

この結果、売上高は 50,988 百万円(対前年同期比 5.2%減)、セグメント利益(営業利益)は 15,314 百万円(対前年同期比 13.3%減)となりました。

なお、海外売上高は 3,450 百万円となりました。

② 不動産事業

不動産事業の主たる収入は文京グリーンコート関連の賃貸料であります。売上高は 1,190 百万円(対前年同期比 1.0%増)、セグメント利益(営業利益)は 809 百万円(対前年同期比 4.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は 131,648 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,343 百万円の減少となりました。これは主に、有価証券の減少によるものであります。

負債は 36,911 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 6,205 百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少によるものであります。

また、純資産は 94,736 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 4,861 百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

自己資本比率は、72.0%(前連結会計年度末 67.6%)となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ 3,182 百万円減少し、38,562 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、5,699 百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、2,151 百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、6,729 百万円の支出となりました。これは、自己株式の取得と配当金の支払によるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、「クレナフィン」「セプラフィルム」の売上は引き続き伸長するものの、薬価改定の影響を吸収するまでには至らず、減収減益を見込んでおり、平成28年5月12日に発表した業績予想は変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、有形固定資産の減価償却方法として主に定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、中期経営計画の策定を契機に有形固定資産の使用状況を検討した結果、生産高、稼働率等が長期安定的に推移するものと見込まれ、定額法が設備等の使用実態をより適切に反映するものと判断したためであります。

この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

なお、当第2四半期連結累計期間のセグメント情報に与える影響も軽微であるため記載を省略しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,845	29,662
受取手形及び売掛金	29,868	30,219
有価証券	11,899	8,899
商品及び製品	7,399	7,933
仕掛品	1,940	2,840
原材料及び貯蔵品	5,167	4,631
その他	2,870	2,947
流動資産合計	88,991	87,134
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,441	17,620
その他（純額）	11,285	9,144
有形固定資産合計	26,726	26,765
無形固定資産	371	332
投資その他の資産		
投資有価証券	14,400	15,052
その他	2,501	2,363
投資その他の資産合計	16,901	17,415
固定資産合計	43,999	44,513
資産合計	132,991	131,648

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,256	10,957
電子記録債務	—	1,458
短期借入金	3,875	3,875
未払法人税等	8,628	5,227
引当金		
賞与引当金	1,313	1,198
その他の引当金	1,055	404
その他	6,731	5,103
流動負債合計	33,861	28,224
固定負債		
退職給付に係る負債	8,898	8,332
その他	356	353
固定負債合計	9,255	8,686
負債合計	43,116	36,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,407	11,407
利益剰余金	68,609	76,826
自己株式	△16,301	△19,807
株主資本合計	87,568	92,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,423	4,355
退職給付に係る調整累計額	△2,117	△1,897
その他の包括利益累計額合計	2,306	2,457
純資産合計	89,875	94,736
負債純資産合計	132,991	131,648

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	54,973	52,179
売上原価	23,417	22,281
売上総利益	31,555	29,898
販売費及び一般管理費		
給料	3,753	3,668
賞与及び賞与引当金繰入額	833	853
退職給付費用	350	419
研究開発費	2,965	3,627
その他	5,209	5,205
販売費及び一般管理費合計	13,112	13,774
営業利益	18,443	16,123
営業外収益		
受取利息	6	3
受取配当金	120	152
その他	27	27
営業外収益合計	154	182
営業外費用		
支払利息	13	11
為替差損	4	48
その他	6	8
営業外費用合計	24	68
経常利益	18,573	16,238
特別損失		
固定資産除却損	41	47
ゴルフ会員権売却損	5	17
その他	3	—
特別損失合計	49	64
税金等調整前四半期純利益	18,523	16,173
法人税等	6,040	4,726
四半期純利益	12,483	11,446
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,483	11,446

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	12,483	11,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,289	△68
退職給付に係る調整額	114	219
その他の包括利益合計	△1,175	150
四半期包括利益	11,308	11,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,308	11,597

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,523	16,173
減価償却費	1,039	903
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△445	△207
受取利息及び受取配当金	△127	△155
支払利息	13	11
有形固定資産除却損	41	47
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,687	△351
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△223	△896
仕入債務の増減額 (△は減少)	851	159
その他	△1,856	△1,882
小計	14,128	13,800
利息及び配当金の受取額	127	155
利息の支払額	△13	△11
法人税等の支払額	△3,690	△8,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,551	5,699
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,616	△1,247
無形固定資産の取得による支出	△33	△40
投資有価証券の取得による支出	△1	△751
その他	△103	△112
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,754	△2,151
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△171	△3,506
配当金の支払額	△2,649	△3,223
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,821	△6,729
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,975	△3,182
現金及び現金同等物の期首残高	24,767	41,744
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,742	38,562

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、平成28年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を532,500株、3,499百万円取得いたしました。

なお、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は7,567,505株、19,807百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	53,794	1,178	54,973	—	54,973
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	53,794	1,178	54,973	—	54,973
セグメント利益(営業利益)	17,668	775	18,443	—	18,443

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	50,988	1,190	52,179	—	52,179
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	50,988	1,190	52,179	—	52,179
セグメント利益(営業利益)	15,314	809	16,123	—	16,123

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成28年3月31日付で当社の100%連結子会社である科研不動産サービス株式会社を吸収合併したことに伴い、前連結会計年度の第4四半期より、当該子会社が保有していた「不動産事業」の一部の資産につき、「薬業」に報告セグメントを変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。